

# 一 般 勘 定 貸 借 対 照 表

(平成30年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部		負債・剰余金の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(流動資産)	3,642,601	(流動負債)	713,931
現金・預金	3,642,601	未払金	225,119
		預り金	488,812
(固定資産)	270,934,331,943		
有形固定資産	150,476	(特別法上の引当金等)	270,924,849,067
建物	10,982	保険契約者保護資金	270,924,849,067
動産	139,494	保険契約者保護資産見返	270,924,849,067
投資その他の資産	270,934,181,467	(負債合計)	270,925,562,998
保険契約者保護資産	270,924,849,067		
敷金・保証金	9,332,400	(剰余金)	
		繰越剰余金	12,411,546
		(うち 当期利益金)	( -879,655 )
		(剰余金合計)	12,411,546
資産合計	270,937,974,544	負債・剰余金合計	270,937,974,544

## 財務諸表等に対する注記

本財務諸表等は、保険業法及び定款等の法令等に基づく公正妥当と認められる会計の基準に準拠して作成している。  
本財務諸表等の作成に当たり採用した重要な会計方針等は、以下のとおりである。

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 資産の償却について

減価償却資産(建物、動産、ソフトウェア)について、定額法による償却を実施している。

#### (2) 特別法上の引当金等について

保険契約者保護資金は、保険業法第265条の28に定める資金援助等業務の実施に要する費用に充てるため同法第265条の32に基づき設けている。

#### (3) 資金の範囲について

資金の範囲は、現金・預金、未払金及び預り金である。

#### (4) 消費税等について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 翌期繰越金の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	4,082,136	3,642,601
未払金	-128,053	-225,119
預り金	-415,626	-488,812
翌期繰越金	3,538,457	2,928,670

### 3. 減価償却資産の取得価額、償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	償却累計額	当期末残高
建物(建物附属設備)	1,492,000	1,481,018	10,982
動産(器具備品)	3,091,505	2,952,011	139,494
合 計	4,583,505	4,433,029	150,476